

成績評価と評価基準（GPA による客観的指標）

1 成績評価および評価基準について

- 各授業科目（実習を含む）の成績は、定期考査、出席状況、課題・レポートの提出状により評価する。
- 評価は 100 点法で行い、評定は以下の表による。

評定	評価区分（評価点）	評価内容
A (優)	80 点～100 点	その科目の要求にふさわしい優れた成績
B (良)	70 点～79 点	要求を満たす成績
C (可)	60 点～69 点	合格に必要な最低基準を満たした成績
D (不可)	0 点～59 点	不合格

- 評定は A、B、C を合格（科目履修認定）、D を不合格とする。

2 GPA による客観的指標について

- 客観的な成績評価を行うため、上記の成績評価と併せて GPA（Grade Point Average）制度を採用する。

※ GPA 制度とは、客観的な成績評価を行うため、授業科目ごとに 0～3 などのポイントを付した上で、学生ごとの成績の平均を算出すること。

- GPA の算出方法は以下のとおりとする。

評定	評価区分（評価点）	GP（Grade Point）
A	80 点～100 点	3
B	70 点～79 点	2
C	60 点～69 点	1
D（不可）	0 点～59 点	0

*GP は小数点第 2 位を四捨五入して小数点第 1 位で表示する。

$$\boxed{3 \times \text{“A” の履修時間数}} + \boxed{2 \times \text{“B” の履修時間数}} + \boxed{1 \times \text{“C” の履修時間数}}$$

総履修時間数（D（不可）の履修時間数も含む）

3 GPA による学習支援

- GPA は学期毎に算出をして、学生に通知を行い学習支援に活用する。
- GPA により下記の指導を行う

【1.7 以上 2.0 未満】→「注意」とし、学生との個別面談及び指導

【1.7 未満】→「厳重注意」とし、保護者・学生との 3 者面談及び指導